

東京都荒川区校務DX計画

1．教員用の校務系ノートPCと学習系タブレットPCの統合

令和6年8月より校務系の事務処理環境をクラウド上の仮想環境に構築する。このことにより、教員については同時期に新しく導入するChromebook（Core Ultra 5 CPU搭載）を利用して校務支援システムでの処理も含めた校務系の事務も授業での活用も両方を1台の端末でできるようになり、今までの端末2台持ち体制が解消される。

また、クラウド上に校務系環境を構築することにより、教員は今まで学校の職員室でしかできなかった校務系の事務処理を教室や自宅といった任意の場所で行うことが可能となる。

2．校内ネットワークの改善

令和6年8月に校内のルータや各種スイッチ、アクセスポイント等のネットワーク機器の交換及びL3スイッチから各フロアスイッチを繋ぐ校内幹線の取り換え工事を行う。

このことにより、令和6年9月1日時点で区内小中学校34校全校において、文部科学省が推奨するネットワーク帯域を実現する。

3．校務のクラウド化・デジタル化の推進

前述のとおり、校務環境をクラウド上に構築することによって、教員の端末2台持ち体制を解消するとともに場所に縛られない働き方を実現する。

さらにMicrosoft Teamsを活用して学校内及び教育委員会と学校との情報共有・連携を推進する。

FAXでの学校間及び学校と教育委員会間でのやり取りや押印については、一部を除いて既に原則廃止としている。

4．児童生徒1人1台端末の活用と個別最適な学びの充実

児童生徒用端末については、令和7年4月よりLTE対応端末及びSIMを導入し子どもたちがいつでもどこでもインターネットを利用した学習を行える環境を構築する。

さらに児童生徒が自身の学習の進度にあわせて自由に講義動画を視聴できるサービスを区が費用を負担して導入することによって、個別最適な学習の充実に図る。